

目次

□巻頭言 青函トンネル本坑貫通にあたって……………松尾昭吾/1

□昭和60年度官公庁の事業概要(2)~(6)

運輸省港湾関係事業……………津田青記/3

運輸省空港整備事業……………笠原勝/5

日本国有鉄道設備投資計画……………吉川泰弘/8

日本鉄道建設公団事業……………高野彬/10

農業基盤整備事業……………荒井聰/12

青函トンネル開業関係設備の概要……………小林正一/16

グラビヤ—青函トンネル本坑貫通
関越トンネルの施設

関越トンネルの換気設備の概要……………藤村弘志/21

津軽海峡線の経済性を考慮した
開床式高架橋の概要……………山口村田 泰男/27
山松原 康雄

富山八尾中核工業団地の建設概要……………時津孝人/33
久保田 博巳

□随想 ゴルフとの出会い……………藤吉三郎/38

バイオチューブポンプとその展望……………玉木道洋/40

中部電力浜岡原子力発電所3号機取水塔工事……………田中義三/45
岡熊平野 禮雄
熊平野 登志夫

札幌市地下鉄における
泥水固化式地中連続壁工事……………長縄平三/51
若原 嗣男

低騒音型建設機械の使用実態調査報告……………時政宏/59

□新工法紹介

P&Z工法/FCC工法/RS式押し出し工法/
ITP工法/BUFFIN工法/ジョイラック工法……………調査部会/63

□新機種ニュース……………調査部会/69

□文献調査

岩石コンベヤと急傾斜コンベヤによる採鉱
効率の向上/建設機械トピックス……………文献調査委員会/76

□ISO規格紹介

土工機械に関するISO標準規格(3)……………ISO部会/81

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
……………調査部会/86

行事一覧……………/87

編集後記……………(西村・森谷)/90

◀表紙写真説明▶

KEMCO-TAMROCK
マキシマティック

H 207 BS 油圧モービルジャンボ

製造元:コトブキ技研工業株式会社
総代理店:三井物産株式会社開発機械部
代理店:三井物産機械販売株式会社

高速道路、鉄道、石油備蓄基地などの様々なトンネル掘進における工事のスピード化、省エネ化に対応するために開発した機種である。本機は2台の油圧さく岩機と360°回転するサーキュラーブーム、さらにローディングバスケットを備えており、電動機およびディーゼルエンジンを搭載している。台車はセンターアーティキュレーテッド型のヘビードューティキャリアで、足回りはタイヤード方式である。掘削断面は最大80㎡までカバーでき、全断面掘削が可能である。マキシマティックシリーズには3ブームタイプも販売している。

◀主な仕様▶

| | |
|--------------------------------|-----------------|
| 全長…………… | 14,200 mm |
| 全幅…………… | 2,900 mm |
| 全高…………… | 3,600 mm |
| 全重量…………… | 26,000 kg |
| 動力(エンジン)…………… | 55 PS/2,200 rpm |
| 電動機…………… | 37 kW×2台 |
| さく岩範囲……………(L) 11.8 m×(H) 7.8 m | |